

【専門教育科目/看護の展開/母性看護学】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
母性看護学概論			必修	1	2	前期
担当教員		研究室	電子メールID	オフィスアワー		
田中深雪		409	m.tanaka	金曜日 16:20～17:50		
授業の目的・概要		母性の尊厳と使命および人の性と生殖の意義を理解し、ウイメンズ・ヘルスという視点から各発達段階における身体的・心理的・社会的特性について学ぶ。ライフサイクルに応じた女性の健康を保つ意義と課題、母性をとりまく環境や地域システム等を理解し、母性看護の機能と役割について学ぶ。母性の概念と母性看護の意義、人間の性と生殖(人間の成長過程とセクシュアリティ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、ヘルスプロモーション)、母性の発達過程に影響を及ぼす因子、各ライフサイクルにおける母性の役割機能を遂行するための看護の理論を学ぶ。また、我が国独自の母性看護に関連する地域性および文化等の歴史の変遷、母子保健の動向、政策、制度、法律等を学ぶ。				
授業形式・方法		<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	<input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> グループワーク
学習上の助言		1年次に学習した「人間の生殖と発達」と関連付けながら母性看護の対象の身体的・精神的・社会的特性の理解を深めてほしい。現代女性の特性や生き方、さらに男性や家族・地域社会の特徴やあり方など社会の動向にも注目し視野を広げ、自身の母性観、父性観についても考える機会とする。				
教科書		系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学①/著:森 恵美 他/医学書院/2021				
参考書		国民衛生の動向/厚生労働統計協会/2020 わが国の母子保健/母子保健事業団/2020				
外部教材						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	母性看護の基盤となる概念について理解し説明できる。			HSU(1)(2)、NS(1)(2)		
②	母性看護に関する社会的動向について理解し母性看護のあり方について説明できる。			HSU(1)(2)、NS(1)(4)(5)		
③	母性看護に関連する法律・施策について理解し説明できる。			HSU(1)(2)、NS(2)(5)		
④						
⑤						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	母性の概念について学習する。	講義	教科書、資料で予習復習する。	3		
2	母子関係と家族発達について学習する。	講義	教科書、資料で予習復習する。	3		
3	セクシュアリティの定義や意義および発達について学習する。	講義	教科書、資料で予習復習する。	4		
4	リプロダクティブヘルス/ライツとヘルスプロモーションについて理解し、今後のヘルスケアについて学習する。	講義	教科書、資料で予習復習する。	4		
5	母性看護のあり方、倫理、安全、事故防止について学習する。	講義	教科書、資料で予習復習する。	4		
6	わが国における母性看護の変遷と現状について学習する。	講義	教科書、資料で予習復習する。	4		
7	母性看護に関する社会的動向について母子保健統計から学習する。	講義	教科書、資料で予習復習する。	4		
8	母性看護に関する法律や施策、対象を取り巻く環境について学習する。	講義	教科書、資料で予習復習する。	4		
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照					

【専門教育科目/看護の展開/母性看護学】

		達成度評価						
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100	
	思考・推論・創造する力	70	0	0	0	0	70	
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0		
問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点						
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施し評価する。 定期試験は教科書、授業で配布したプリントの内容に基づく応用問題を 出題する。					試験後に解説を実施する。
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	授業の半ばにレポートを課す。課題については開講後に提示する。					授業内で総評を行う。
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他担当教員								
教員の実務経験	助産師として5年以上の臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	実務経験のある教員の指導のもと、母性看護学の基礎的知識について理解を深める。							
その他	今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります。							